

一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 8月13日

議 会 議 長 様

議席番号 8 番

議員氏名 上 田 聡

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. デマンド タクシーの 実証運行早く	<p>「誰もが安心してくらせる杉戸町をつくる会」が実施した「デマンド交通の早期実施と巡回バスの運行改善を求める署名」は、8月12日時点で3,800筆余りに達した。町の有権者数のおよそ10分の1にあたる数である。2015年5月提出の町立小中学校へのエアコン設置を求める請願署名の3,364筆を大きく上回る筆数である。以上を踏まえて町の見解を伺う。</p> <p>(1) まずは町長の率直な感想を明らかに。</p> <p>(2) 町長に伺う。ある若い子育て世帯の母親からは、「あっ、あのムダに走らないヤツですよね!」とその場で家族5人全員の署名をいただいた。同様の声は、特に若い人達から多数寄せられた。高齢者からは、「これがあると通院や買い物に助かる。一刻も早く実現してほしい」との声が相次いだ。こういった声をどのように受け止めるか。</p> <p>(3) 羽生市では、2022年10月から2025年3月までの2年半にわたり、ワゴン型車両1台とセダン型車両2台でドア to ドア方式による実証運行を実施中である。市の担当課や利用者、運行事業者からは、どのような声が寄せられているか、把握しているものがあれば明らかに。</p> <p>(4) 年間を通じて一定台数のデマンド専用車両を確保するのではなく、既存のタクシーをデマンドタクシーとしても活用してはどうか。普段は通常通りのタクシー業務にあたり、予約が入った際にはデマンドタクシー</p>	町長 副町長 総合政策課長 住民協働課長 担当課長

8月13日 午前・午後 2時50分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
	<p>として運行するという方式や、逆に、デマンド運行時間帯以外にだけ通常のタクシー業務にあたるという兼用方式である。実際、行田市や東松山市、鴻巣市、小川町、白岡市で導入されている（別紙「図・表」参照）。兼用方式であれば、新たに専用の車両や運転手を確保する必要がないので、車両費、燃料費、人件費等の経費が節約できる。運転手不足の問題も解決できる。このように兼用方式は財政面でも人材確保面でも合理的と考えるが、導入に際して何か障害やハードルがあれば併せて明らかに。</p>	